

令和5年6月吉日

観音寺市観光協会会員各位

観音寺市観光協会ガイドブック掲載広告募集

観音寺市観光協会

会長 守谷 通

新緑の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

常日頃は、本市の観光行政に多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度観音寺市観光協会では2020年に発行したまち歩き本「かんおんじ BOOK vol.3」の改定版を制作することとなりました。

つきましては、より観光客に楽しんでいただくため、観音寺市内の店舗情報を掲載いたします。貴社の宣伝にもなるかと思っておりますのでぜひ、掲載のご検討をよろしくお願いいたします。

1 タイトル

魅力まるかじり！かんおんじ BOOK vol.4（仮）

2 内 容

観音寺市内を歩いて巡るまち歩きスポットを中心としたガイドブック

史跡等の内容や歴史を詳しく説明

食事・宿泊・おみやげ物等の観音寺市観光協会会員様のお店情報を掲載

3 パンフレット仕様（案）

(1) 制作部数：20,000部（2年間で配布予定）

(2) サイズ：B5版 縦

(3) 40ページ（表紙含む）

(4) 印刷：オールカラー

(5) 製本：中綴じ（ホチキス止め2ヶ所）

4 掲載料金（観音寺市観光協会 合併10周年感謝価格）

A) 1 枠 ~~5,000円~~ → 4,000円

B) 2 枠 ~~8,000円~~ → 7,000円

C) 4 枠 ~~15,000円~~ → 14,000円（法人会員に限る。広告データの提供をお願いいたします。）

※掲載サイズ、位置などは広告掲載イメージ参照

5 お申し込み方法

お申し込みは、観音寺市観光協会会員に限ります。(新規入会も可)

別紙「掲載情報記入用紙」にご記入のうえ観音寺市観光協会事務局に持参もしくは、郵送または FAX

【申し込み期限 令和5年7月31日(月)】

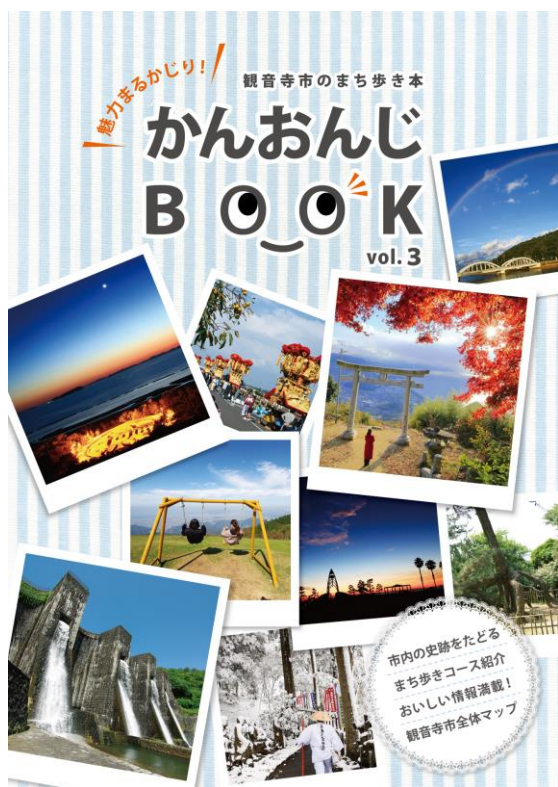
6 お支払い方法

申し込み時にお支払い、もしくは集金 ※振込の方はお知らせください。

7 注意点

申し込み者が多数の場合、内容を踏まえて事務局で選定させていただく場合があります。予めご了承ください。

■表紙(前回)



■ 広告掲載スペース (おおよそのサイズ)

1 皇太子神社
皇太子神社は、吉代ロマンの生きた皇太子神社として、毎年1月7日午前5時から、「天下泰平」「国土安全」「五穀成茂」「氏子集結」と「悪魔退散」を願う弓射神事「御門弓」が行われ、1年12カ月を意味する12本の矢を射る。神事は、市の無形文化財に指定されている。

2 蓮光院(羅漢寺)
蓮光院は羅漢信仰が盛んだと伝えられる。戦国から古く羅漢像を造って、安置していることから七山羅漢寺と言われた。後、数回の兵火によって本堂・羅漢堂も焼失したが、1675年の寺の智恵六世阿闍梨快賢が昔にならって羅漢堂を再建。また、柱材一丁彫り、高さ30cmほどの五百体の像を作った。五百体の像は欠損もなく揃っており市の文化財に指定されている。

3 宝珠寺
高宮小学校付近に高麗寺があったが、徳度も火災にあい天正年間から現在地に移り、宝珠寺と改められた。阿闍梨三尊像や徳広が市の有形文化財に指定されている。

4 入江こうじ製造所
無添加で、原材料はすべて国産。代々の製法を守りながら、米、麦、もろみ、野菜味噌等のこうじ。甘酒、味噌を製造販売しています。

5 津久茂醸造所
伝統五百年のこうじ専門店。国産の健康醸造食品の津久茂こうじで「甘酒・味噌・こうじ・漬物」の製造を手回りの醸造所を営んでいます。良質な原料を使ったこうじの製造から販売まで行っています。

6 稲積山(高麗神社)
稲積山は、市内が一望できる絶景ポイント。水田が方形にきれいに並ぶ美観もよく見ることができ、高麗神社は、讃岐国高麗郡内24社の1社。当初、稲積山頂にあった本殿を山麓に移したが、後に山頂に再び造営した。山の名前をとり、稲積神社とも呼ぶ。標高約404mにある。本宮の鳥居は「天空の鳥居」ともいわれられており、2018年には「西国八十八景」の一つに選出されている。大祭は、新しく春季に行われる。

7 内流神社
明治5年、三重地方で勃発した竹槍騒動の御神木犠牲者、空崎・小島両警官の霊を鎮めるため祀りされた。例年、殉難100周年記念祭により慰霊祭が実施される。

8 芭蕉句碑
「旅人と わがな呼ん はつ時雨」
松尾芭蕉「芭蕉の俳句」の冒頭の句。裏には、当時丹後の俳人原信雄がこの地にきて、指導した俳歌の句が刻まれている。三重市附田町の鉾神社にも歌碑がある。

9 入江為守の歌碑
高宮の歌歌所の責任者入江為守が、室本を倒した時九十九山を見て詠んだ歌を刻にしたもの。対して、三重市附田町の鉾神社にも歌碑がある。

↑ 1 枠のサイズ (W95mm×H65mm)

5 波切不動尊
信仰心の深い人々が、島北端の新羅の前に、重慶あたたかな不動尊を祀っている。不動尊までの道中に懸えられた額は、4月の土日に懸えられ、桜まつりが行われる。

6 伊吹産院(出部屋)跡
北瀬の港を眼下に眺める静かな場所に、出産後の母と子が1カ月間生活した伊吹産院の建物跡がある。激しい労働から解放することにより、母子の健康を考えた母の人の館であった。通称「出部屋」と呼ばれ、約400年前、長七といふ人が、私財を投じて建てた小屋がそのはまりと言われる。

7 石門
海水の浸食により作られたもので、「新羅城百重」に選ばれている。干潮のときは、浜を歩いて近くまで行くことができるが、普段は海上からしか見ることができない。昔、武者が陣をとり、水軍が船出したといった口門とされる伝説が残る。

8 金田一春彦先生の歌碑
伊吹島は、日本で唯一平安時代のアークを遺す言語上貴重な島である。金田一先生も二歳ほどおられた。先生が伊吹島で詠まれた歌が資料館に展示されている。伊吹町自治会と伊吹島愛護委員会により、直筆の歌が平成16年、碑に刻まれた。

9 トイレの家
瀬戸内国産瓦葺2013年の作品。伊吹小学校の敷地に設置されたトイレ。光射し込み方により様々な色が見える。

10 イリコ庵
瀬戸内国際芸術祭2010年の作品。イリコの加工に使ういりや島の石垣、出陣前の女たちが生み出した出陣で、生命の誕生を表現している。

11 伊吹の樹
瀬戸内国産瓦葺祭2019年の作品。出陣前の女たちが生み出した出陣で、生命の誕生を表現している。

1 伊吹島民俗資料館
島に伝わる漁具、民具、文書等を保存展示している。旧伊吹幼稚園の建物を活用した島民手作りの資料館。写真等であつての島の生活が紹介されており、伊吹島の歴史や民俗を知ることができる。

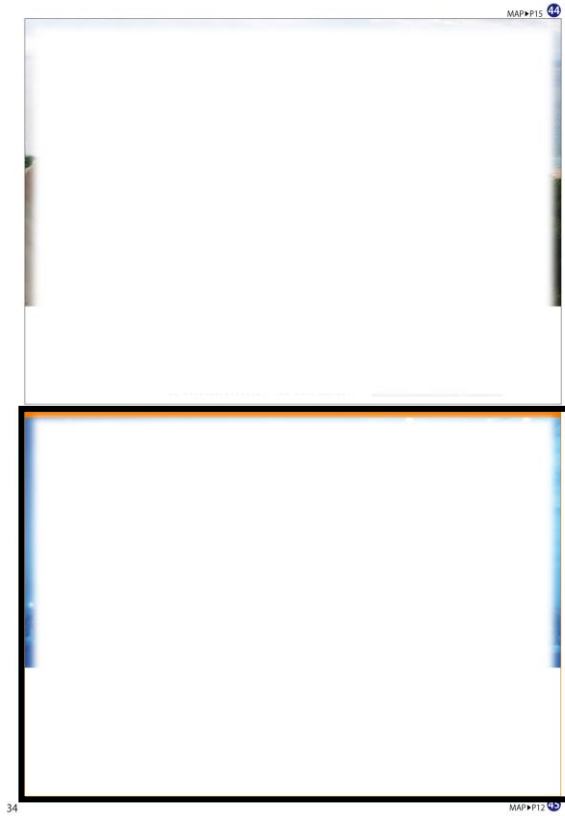
2 お神楽
夏越しの行事として行われ、祭は八幡神社。夜は荒神社前で奉納される。非常に珍しい海舞が多く、伊吹島で舞うために受け継がれてきたものもある。

3 秋祭り
船渡節は島独特のもので、伊吹島ならではの民俗文化を感じることができる。

4 ごうださん
白田時十郎の父、白田時之輔の墓。時十郎は、大平伊賀守四郎の娘婿。家名として豊兵衛である。秀吉の九州征伐、戸別川内戦にて多くの訓練の武将と共に戦死したが、その子孫は庄屋を拝念し、豊漁で繁栄している。

10 伊吹漁業協同組合
地域ブランド「伊吹いりこ」
「伊吹いりこ」の最大の特長は「漁獲と加工場が非常に近く、漁獲から加工まで鮮度第一で生産することです。選別されたイワシは海水浴で満たした高速冷凍船に暮らし、直ちに冷凍。海産物に詳しい加工工場「フジショップ」で販売。加工工程はすべて厳密に管理されており、この一貫生産体制こそ、上質な伊吹いりこの生命線といえます。

↑ 2 枠のサイズ (W180mm×H65mm)



↑4 枠のサイズ (W165mm×H120)